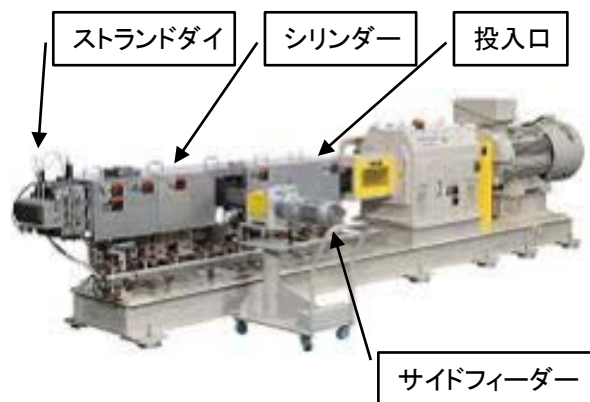


「高混練二軸押出機」の紹介

○ 本装置は、混練性能を高めた複合材料を製造するための二軸押出機です。



高混練二軸押出機の概要



試作したセルロースナノファイバー/樹脂複合材料
（左から、含水セルロースナノファイバー、
ポリプロピレン、添加剤、試作複合材料）

混練性能を高めた二軸押出機で、真空装置を備えており、材料の加熱・溶融時の空気や水分による劣化を防ぎながら材料製造や丸棒やフィラメントの成形を行う装置です。

メーカー・型式

- ・メーカー : 東芝機械株式会社
- ・型式 : TEM-48

<主な仕様>

- ・形式 : 同方向二軸押出機
- ・スクルー形式 : セグメント式（耐食・耐摩耗仕様）
- ・スクルー径 : 48mm
- ・スクルー長さ、直径比（L/D） : 58.3
- ・回転速度 : 1～437rpm
- ・シリンダー温度 : 80℃～400℃
- ・シリンダーベント : 3カ所
- ・シリンダーサイド口 : 1カ所
- ・真空ポンプ : 水封式（排気量1500L/min）
- ・ストランドダイ : φ4mm×5穴
- ・成形ダイ : フィラメント、丸棒
- ・材料前処理部 : プラネタリー型ミキサー（15L）、
ヘンシェル型ミキサー（12L）

<主な用途>

セルロースナノファイバー等の微細なフィラーを高度に分散させた高性能材料の製造を行います。また、材料の前処理や押出成形用の付属品を備えています。